

2026年度

履修証明プログラム

病院経営アドミニストレーター育成プログラム

シラバス（授業計画）

小樽商科大学大学院商学研究科

アントレプレナーシップ専攻

## － 目 次 －

1. 趣旨 .....	1
2. 開講科目 .....	1
3. 修了要件 .....	1
4. 授業計画 .....	1
経営学入門 .....	3
マネジメントの知識と思考法 .....	5
地域ヘルスケアマネジメント .....	6
病院経営特論 .....	8
地域ヘルスケアシステムプランニング .....	10
ヘルスケアデータ利活用ハンズオン .....	12

## 1. 趣旨

少子高齢化、人口減少を背景に社会保障制度の持続可能性が危ぶまれている中、医療機関経営はさらに厳しさが増すと予想されます。また、予測困難と言われる時代において、組織として事業環境の変化への対応など、判断や行動のスピードに対する要求が高まっており、今後もこうした状況は続いていくと予想されます。本プログラムでは、医療機関経営においても、過去から未来を推測する力、新しい事業を創造する力といった「起業家的行動能力（≡アントレプレナーシップ）」が重要であると考え、その能力を醸成すべく、小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻（通称ビジネススクール）の教育経験を活かしたカリキュラムを構築し、履修証明プログラムとして開講します。

## 2. 開講科目

総授業時数：96 時間

- ・経営学入門（6 時間）
- ・マネジメントの知識と思考法（15 時間）
- ・地域ヘルスケアマネジメント（24 時間）
- ・病院経営特論（24 時間）
- ・地域ヘルスケアシステムプランニング（18 時間）
- ・ヘルスケアデータ利活用ハンズオン（9 時間）

※「経営学入門」のみを受講することはできません。

※「地域ヘルスケアシステムプランニング」を受講するためには、「地域ヘルスケアマネジメント」を受講している必要があります。

## 3. 修了要件

全 6 科目の合格認定（全 96 時間のうち、各科目 2/3 以上の出席（受講）とレポートの提出が必須）および最終課題の審査（提出物の内容及びプレゼンテーションの評価）の合格により修了を認定します。

## 4. 授業計画

本プログラムに関する情報は、受講管理システム manaba を通じて受講者へお伝えします。

### ○授業時間（モジュール型授業）

モジュール型（集中連続）授業では、1 回の授業を 2 時限連続（90 分×2 コマ=180 分）、平日夜間（6,7 講日）に行い、集中的に学習します。また、土曜日開講の科目は、3～4 時限連続（2～5 講日）で授業を実施します。

### ○開講時間帯

1 講目 8:50 - 10:20

—平日夜間—

2 講目 10:30 - 12:00

6 講目 18:30 - 20:00

3 講目 12:50 - 14:20

7 講目 20:10 - 21:40

4 講目 14:30 - 16:00

5 講目 16:10 - 17:40

○講義会場

小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55 ビル 3階

※対面授業およびリアルタイム型オンライン授業を併用したハイフレックス型授業で行うことを基本とします。

○授業日程

2026年7月1日(水)から2027年3月を予定

※詳細な日程は現在担当講師と調整中です。

科目名	経営学入門
-----	-------

担当教員	藤原 健祐 ※オンデマンド授業	
時間数	6 時間	
授業の概要	<p>経営学は、企業が直面する実践的な課題に対して理論的な解決策を見出す学問です。しかし、これらの課題や解決策は、企業を取り巻く経済環境の変化によって短期間で大きく変化する可能性があり、また非常に多様です。本講義では、オンデマンド形式で「企業」と「経営」に関する基礎的知識を体系的に学ぶことを目的とします。受講者は動画を視聴した後、レポートを提出し、寄せられた質問には担当教員が順次回答します。</p>	
到達目標	<p>企業が実際にどのような方針（戦略）を立案し、その方針に基づいてどのような仕組み（組織）を構築し、その仕組みの中でどのように日々の活動を運営（管理）しているのかという、一連の経営プロセスについて理解することを目指します。</p>	
授業計画	M1	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授）
	内容	<p>企業と経営</p> <p>経営学とは何か、企業とは何か、環境と組織のマネジメント</p>
	M2	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授）
	内容	<p>経営戦略（1）</p> <p>経営戦略とは何か、ドメインの設定、ポートフォリオ・マネジメント、多角化戦略</p>
	M3	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授）
	内容	<p>経営戦略（2）</p> <p>3つの基本戦略、5フォース分析、競争地位別戦略、バリューチェーン分析</p>
	M4	※映像出演 近藤 公彦（撮影当時 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授）

	内容	経営管理 人と組織のマネジメント、モチベーションとインセンティブ、集団とリーダーシップ、組織構造の次元、組織構造の設計
--	----	--

科目名	マネジメントの知識と思考法
-----	---------------

担当教員	李 濟民、籙本 智之、玉井 健一、猪口 純路、西村 友幸	
時間数	15 時間	
授業の概要	<p>本科目では、ビジネスパーソンとして共通して身につけておくべき、戦略、マーケティング、組織行動・人的資源管理、会計・財務といった経営管理に関する基礎知識の習得を目的とします。特に、新規事業のプランニングに求められる経営戦略やマーケティングの分析フレームワーク、効果的なチームマネジメントの手法、企業会計の基本的な考え方などについて、本学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻の講師陣が講義およびグループワークを行います。</p>	
到達目標	<p>経営管理に関する基礎知識を身につけるとともに、実務における課題発見から課題解決に至る一連のプロセスにおいて必要となる「マネジメント思考力」を養うことを目指します。</p>	
授業計画	M1	小樽商科大学 副学長 猪口 純路
	内容	マーケティング（市場細分化、ターゲティング、ポジショニング等）
	M2	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 籙本 智之
	内容	企業会計の基礎（財務諸表の仕組みと役割、財務分析の基礎等）
	M3	小樽商科大学 副学長 玉井 健一
	内容	イノベーション概論（戦略志向のイノベーションプロセス等）
	M4	小樽商科大学 名誉教授 李 濟民
	内容	経営戦略（SWOT 分析、5Force 分析、バリューチェーン等）
	M5	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 西村 友幸
	内容	チームマネジメント（リーダーシップ論、モチベーション等）

<b>科目名</b>	<b>地域ヘルスケアマネジメント</b>
------------	----------------------

担当教員	藤原 健祐、猪口 純路、北川 泰治郎、齋藤 直路 他	
時間数	24 時間	
授業の概要	<p>少子高齢化や人口減少に伴い、地域社会では多様な社会的・経済的課題が顕在化しています。これに対応するためには、地域全体での包括的な支援・サービス提供体制の構築、さらには人口減少時代にふさわしい新たなまちづくりの推進が求められます。</p> <p>本科目では、「医療」「介護」「健康」などを広義の意味でのヘルスケアと捉え、サービスの受け手・提供者の双方の「ウェルビーイング（持続的幸福）」を中心的なテーマとして取り上げます。従来の医療・介護サービスの枠にとらわれず、地域に存在する多様な資源の連携によって、新しい価値を創出するサービスのデザインを学びます。</p> <p>授業は、医療・介護・地域福祉などの専門家によるレクチャーと、学生によるグループ討議を組み合わせ、地域課題への実践的なアプローチ力を養います。</p> <p>なお、本科目は本学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻正課科目「特殊講義Ⅱ（地域ヘルスケアマネジメント）」と合同で開講し、大学院生と同じ授業を共有します。</p>	
到達目標	ヘルスケアおよびウェルビーイングに関連する地域課題を適切に把握し、分野を超えた視点から新たなサービスを構想し、課題解決に導く力を身につける。	
授業計画	M1	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐（実務家教員） 株式会社スターパートナーズ 代表取締役 齋藤 直路（実務家）
	内容	「地域ヘルスケアマネジメントの考え方と共通価値の創造」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
	M2	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐（実務家教員） <ゲスト講師>医療経済研究機構 主席研究員 石川 智基
	内容	「事業の社会的インパクトを捉えるデータ分析」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。

M3	株式会社さくらコミュニティサービス 代表取締役 中元 秀昭 (実務家) 小樽商科大学 副学長 猪口 純路
内容	「介護サービスの重要性と介護を軸とした新たなビジネスモデル」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
M4	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐 (実務家教員) <ゲスト講師>みずほ銀行 企業戦略開発部 担当部長 田中 文隆
内容	「企業と人の幸福な関係を築く～人的資本経営の取り組み～」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
M5	溪仁会グループ最高責任者/医療法人溪仁会 理事長 成田 吉明 (実務家)
内容	「地域医療の目指すべき方向と地域との共生」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
M6	生活協同組合コープさっぽろ 中島 則裕 (実務家)
内容	「地域連携によるソーシャルビジネスの展開」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
M7	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐 (実務家教員) <ゲスト講師>PwC コンサルティング合同会社 Technology & Digital Consulting マネージャー 水嶋 輝元
内容	「web3×地域課題解決」について、前半はレクチャー、後半はグループワークを行います。
M8	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐 (実務家教員) 株式会社スターパートナーズ 代表取締役 齋藤 直路 (実務家) 小樽商科大学グローバル戦略推進センター (CGS) 産学官連携推進部門 教授 北川 泰治郎
内容	プレゼンテーションとクラス討議を行います。

科目名	病院経営特論
-----	--------

担当教員	小笠原 克彦, 上村 修二 他	
時間数	24 時間	
授業の概要	<p>日本の医療制度は、高齢化の進行、地域間格差、医療資源の偏在など、多くの構造的課題を抱えています。病院をはじめとする医療機関は、そのような変化する外部環境に対応しながら、限られた資源の中で持続可能な経営を実現していくことが求められています。</p> <p>本科目では、医療政策や制度改革の現状を理解するとともに、病院経営に関わるマーケティング、財務会計、情報管理、組織運営などの観点から、医療機関特有の経営の特徴と実務的な戦略立案について学びます。</p>	
到達目標	<p>日本の医療制度および医療政策の背景を理解するとともに、病院経営における財務・会計・マーケティング・組織マネジメントといった複数の観点から、医療機関特有の経営課題を的確に捉える力を養います。さらに、理論的知識をもとに、変化する医療環境に柔軟かつ戦略的に対応できるマネジメント思考を身につけ、実在の病院を題材としたケーススタディを通じて、理論と実務を結びつける実践力を高めることを目指します。</p>	
授業計画	M1	北海道大学大学院保健科学研究所 教授 小笠原 克彦 (実務家教員)
	内容	北海道の医療政策的視点と医療データ分析
	M2	東北大学 名誉教授 藤森 研司
	内容	国の医療政策的視点、DPC 等
	M3	旭川医科大学 経営企画部 医療情報部門 准教授・副部長 谷 祐児 (実務家教員)
	内容	医療情報、個人情報保護、医療 DX
	M4	慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授 中村 洋
	内容	外部環境変化と今後の先取り
	M5	一般社団法人エアクラフト北海道 代表理事 田瀬 祥夫 (実務家)

	内容	一般の会計と医療機関の会計の違い
	M6	日本医療大学 総合福祉学部 教授 小野寺 美希子 (実務家教員)
	内容	プロフェッショナルの組織学習
	M7	札幌医科大学 医学部医療安全・病院管理学講座 准教授 上村 修二 (実務家教員)
	内容	ケーススタディ 病院経営改善
	M8	医療法人仁友会 仁友会本部本部長 平間 康宣 (実務家)
	内容	北彩都病院のケース

<b>科目名</b>	<b>地域ヘルスケアシステムプランニング</b>
------------	--------------------------

担当教員	安田 宏、今村 恵、石川 康暢、清水 隆文、藤原 健祐	
時間数	18 時間	
授業の概要	<p>少子高齢化、人口減少、地域格差といった構造的課題を抱える北海道において、医療提供体制の持続可能性を確保するためには、もはや単一の医療機関だけでの対応には限界があります。今後求められるのは、複数の医療・介護・行政・民間等の機関が連携・協働し、地域全体で課題を解決する「共創」の視点です。</p> <p>本科目では、これまでに学んだ経営戦略、マーケティング、組織運営、病院経営、地域ヘルスケアマネジメントなどの知識と技能を総合的に活用し、北海道における現実的な地域課題を出発点として、ゼロサムの発想からプラスサムの価値創出へと転換する新たな地域ヘルスケアシステムを構想します。複数機関によるアライアンスを前提としたモデル設計や実現可能性の検討も行い、最終的には集大成としての事業プランを完成させます。</p>	
到達目標	<p>地域ヘルスケアに関する複合的な課題を俯瞰的に捉えた上で、事業プランニングに必要な思考法と技法を身につけます。具体的には、課題発見から解決に向けた仮説設定、論理的なストーリーメイキング、各種分析ツールの適切な活用方法、プランの妥当性評価に至るまでの一連のプロセスを体系的に理解し、実践できる能力を高めることを目指します。</p>	
授業計画	M1	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐 (実務家教員)
	内容	プランニングの概要
	M2	社会医療法人柏葉会 脳神経内科かしわば病院 副院長 安田 宏 (実務家)
	内容	病院経営アドミニストレーターとして必要な能力とは？
	M3	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐 (実務家教員)
	内容	プランのベースとなるアイデアの着想・想定
	M4	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健

		<p>祐（実務家教員）</p> <p>社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院腎臓内科 医師 石川 康暢（実務家）</p> <p>医療法人徳洲会南部徳洲会病院 総合診療科医長 今村 恵（実務家）</p> <p>手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師 清水 隆文（実務家）</p>
	内容	実行プランの練り上げ・練り込み
	M5	<p>小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐（実務家教員）</p> <p>社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院腎臓内科 医師 石川 康暢（実務家）</p> <p>医療法人徳洲会南部徳洲会病院 総合診療科医長 今村 恵（実務家）</p> <p>手稲溪仁会病院 救命救急センター 医師 清水 隆文（実務家）</p>
	内容	最終報告会

科目名	ヘルスケアデータ利活用ハンズオン
-----	------------------

担当教員	辻 真太郎、藤原 健祐	
時間数	9 時間	
授業の概要	<p>本科目は、医療・介護・健康領域におけるデータ利活用の実践的スキルを習得し、地域課題の解決に資する医療 DX の推進力を養うことを目的とした演習中心の科目です。地域医療情報の分析、生成 AI を用いた医療経営における意思決定プロセスの理解と活用、さらにはその改善・高度化に向けたデジタル技術の応用などを通じて、医療 DX リーダーとして求められる複合的な能力を涵養します。授業は、レクチャーに加えて、受講者自身が現場で抱える課題を持ち寄り、課題解決型プロジェクトとして取り組みます。生成 AI をはじめとした分析ツール、システム思考、プロトタイピングを活用し、論理的かつ実効性のある課題解決プランを立案する力を養います。</p>	
到達目標	<p>受講者はレクチャーを通じて、医療 DX リーダーに必要な「ヘルスケアデータの利活用フロー」の基本と、生成 AI をはじめとした分析ツールの活用方法を理解し、データリテラシーを高めるとともに、AI を組み込んだ意思決定プロセスを実践できる力を身につけます。またハンズオンを通じて、自らの職域や地域に根ざした課題を特定し、データ利活用フローと生成 AI をはじめとした分析ツールを統合的に活用し、実効性のある課題解決プランを立案する能力の習得を目指します。</p>	
授業計画	M1	InsightBraid 代表／小樽商科大学客員研究員 辻 真太郎（実務家） 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐（実務家教員）
	内容	「ヘルスケアデータの利活用フロー（収集・蓄積・加工・可視化・分析）」の基本
	M2	InsightBraid 代表／小樽商科大学客員研究員 辻 真太郎（実務家） 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健祐（実務家教員）
	内容	自らの職域や地域に根ざした課題（医療・介護・健康領域に関する情報分析、生成 AI による医療経営支援、医療経営の改善と高度化など）の特定

	M3	InsightBraid 代表／小樽商科大学客員研究員 辻 真太郎（実務家） 小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授 藤原 健 祐（実務家教員）
	内容	実効性のある課題解決プランの立案